



①大漁旗がずらりと並び、活気にあふれています②商店街事務所には休憩スペースやトイレのほか、4カ国語対応のデジタルサイネージも③隠れ家的な立ち飲み屋は大盛況④アーケードに設置された大型ビジョン

## 多彩な振興策により回遊性をさらに高める

### 魚の棚商店街 (明石市)

京都の錦市場、大阪の黒門市場と並ぶ関西の行楽商店街として、阪神や播磨などから多くの人々が訪れる魚の棚商店街。昼競りが開かれる明石市地方卸売市場水産物分場と明石浦漁業協同組合の2つの市場が近い地の利を生かし、新鮮な魚介類を売る店や飲食店が活気を生み出しています。

同商店街では東西2つの振興組合が連携して振興策を展開しており、近年ではフリーWi-Fiを整備したほか、アーケードの入り口に大型ビジョンを設置して商店街や市内の情報などを発信しています。

各個店の取り組みも活発です。酒

販店の3代目である、魚の棚東商店街振興組合の田中泰樹副理事長は「魚の棚ならではの立地を生かした商売がしたい」と店の奥に隠れ家的な立ち飲み屋をしつらえ、商店街で仕入れた魚介類などを使ったあてを提供。イカナゴの魚醤といったオリジナルの加工品や総菜も販売しています。「近年は飲食店の出店が増え、相対的に減りつつある商店街の顔ともいえる鮮魚や塩干を扱う店をいかに維持し盛り立てるか、その解決にもつながる」と同組合の安原宏樹理事長は言います。

田中副理事長は空き店舗を活用し、明石の地酒や食材を提供する

「まある笑店」もオープンさせました。有名ミュージシャンと地酒蔵がコラボした日本酒の発売を考えているそうです。

また、コロナ禍でここ2年開催していない七夕の夜市やビアガーデンなどのイベントも、状況次第では再開を視野に入れています。安原理事は「お客さんと呼べる店、商店街としてさらに工夫を重ね、商店街の回遊性を一層高めていきたい」と話します。

#### 魚の棚商店街

明石市本町

営業時間・定休日/店により異なる

TEL 078-911-9666 (同商店街事務所)

URL <https://www.uonotana.or.jp>

#### 編集後記

「元気企業訪問」で取り上げたグリップルジャパン。外資系企業というドライなイメージがありますが、人、地域を大切にしている企業姿勢も興味深いもので、牧野社長が意気に感じて働いている姿が印象的でした。

# JUMP

2022年4月号 令和4年3月30日発行  
発行人:古川直行 編集人:洲上茂也

#### 明日へ飛躍する企業をサポート

ひょうご産業活性化センター通信

発行所 公益財団法人ひょうご産業活性化センター

神戸市中央区東川崎町1-8-4

神戸市産業振興センター1階・2階・7階

TEL 078-977-9070(代) URL <https://web.hyogo-iic.ne.jp/>